

LCC News Letter 1.

28 September 2010 LCC広報担当

LCC設立5周年記念行事

平成22年11月7日(日)午後2時より、LCCの設立5周年記念行事を同志社大学・寒梅館203号教室で行います。寒梅館は2004年3月に竣工した7階建ての建物で「室町キャンパス」と呼ばれています。地下鉄今出川駅2番出口から北へ僅か徒歩1分の距離です。

当日は、同志社創立135周年記念、「同志社ホームカミングデー」でもあり、午前10時からのチャペルに於ける礼拝に始まり、八田学長の講演、茶道裏千家金澤宗維氏によるお茶席、学生の模擬店、アトラクション、・・・そして、「人力車」でのキャンパス周辺散策、クラーク記念館などの施設をLCC記念行事の前後に楽しんで頂けます。

尚、LCC記念行事の詳細については、間もなく皆様にLCC事務局より発信されます。

LCC定例会で株式会社エクス抱社長が講演

9月27日(月)午後6時30分より、同志社大学大阪サテライトキャンパスでLCC9月度定例会が行われました。

株式会社エクスの抱厚志代表取締役が「産学連携とアントレプレナーシップ」を講演されました。若年層が保守的、安定志向であることなど経営を通しての実感、産学連携の実例として、大阪大学と「次世代品質管理フレームワークの共同研究」などを挙げられ話されました。

新しい事業への創造意欲、高いリスクでも果敢に挑む企業家魂、特に、学生教育にも「アントレプレナーシップ精神」の導入をと熱く語られました。

また、同志社大学大学院総合政策科学研究科のソーシャル・イノベーション研究コース終了の三田果菜さんが、「社会を変えることが私の仕事」と題して抗がん剤などの薬による脱毛症や副作用で悩まれている方達を「美容術」で元気を与えている体験談などを披露されました。



同志社大学 寒梅館

紙上・LCC新島塾

北出が担当し、本井康博教授の著書「魂の指定席」の「同志社と慶応義塾—リベラル・アーツ教育をめぐる—」を配布し、同志社第12代総長湯浅八郎が国際基督教大学初代学長としてアメリカのリベラル・アーツ教育を同校で成功させたことを記載しました。

勝海舟と新島、勝と福沢諭吉の対照的な人間関係に触れ、慶応医学部は福沢と北里柴三郎との出会いが原点であり、一方、新島が切望していた同志社病院は何故、幻に終わったのか、いつか披露したいと思います。

また、福沢諭吉の血をひく「藤原あき」とオペラ歌手藤原義江との「世紀の恋」で「紙上LCC新島塾」を締めくくりました。

(文責：北出)